

## 平成25年度 第2次伊那市男女共同参画計画

## 目標1 男女共同参画社会の意識づくり

(1) 男女共同参画に向けての意識改革と制度・慣行の見直し

## 1. 意識改革のための啓発活動の推進

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容(回数・人数等)		具体的な取り組み内容(回数・人数等)				
1	「男女共同参画社会をめざす伊那市民のつどい」の開催	男女共同参画推進会議委員で実行委員を組織し、11月10日(予定)市役所多目的ホールで市民を対象に開催する。(参加者目標180人)	男女共同参画推進会議委員で実行委員を組織し、11月10日(日)に市役所多目的ホールで市民を対象に開催した。(参加者145人)	継続	○		企画情報課	
2	講演会・研修会等の開催	男と女いきいきセミナーを、9月から2月までに6回開催(受講生目標70人) 第35回桜大学講座を年4回開催する。(750人参加予定)	男と女いきいきセミナーを、9月から2月までに6回開催(受講平均35人参加) 第35回桜大学講座を年4回開催(1月末現在:610人参加)3月開催予定	継続	○		企画情報課	
3	地域リーダー・企業主・事業主の研修会の充実	男女共同参画推進団体や地区役員等へ「男女共同参画社会をめざす伊那市民のつどい」への参加を広報する。また、地域で活躍する人を講師として活用する。	男女共同参画推進団体や区長へ「男と女いきいきセミナー」、「男女共同参画社会をめざす伊那市民のつどい」への参加を依頼した。	継続			企画情報課	
		上伊那地方企業人権教育推進連絡協議会と伊那市企業人権教育推進連絡協議会との共催による事業主等を対象に研修会の開催	上伊那地方企業人権教育推進連絡協議会と伊那市企業人権教育推進連絡協議会との共催による事業主等を対象に研修会を開催した。	継続	○		商工振興課	
4	市報や身近なメディアによる効果的な広報・啓発	市報 参画ひろば(毎月)・特集号(3月)、有線放送(毎月第3火曜日)による啓発	男女共同参画推進委員等市民が市報「参画ひろば」(毎月)で、有線では第3火曜日(毎月)啓発に努めた。市は2月特集号「男女共同参画社会をめざして」で啓発した。	継続			企画情報課	
		男女共同参画に関する川柳・絵手紙を募集し啓発活動に活用する。	男女共同参画に関する川柳絵手紙を募集し、川柳は一般34点、絵手紙は一般27点、小学生210点の応募があり市民のつどいや市民ホールにて展示啓発を行った。	継続			企画情報課	
5	男女の多様な生き方働き方に関する事例等の収集と学習機会の提供	地元で活躍している人を情報収集し、男と女いきいきセミナーの講師とする。	地元で活躍している人を情報収集し、男と女いきいきセミナーの講師として活用した。	継続			企画情報課	

## 2. 家庭・地域・職場における性別による固定的役割分担の見直し

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容(回数・人数等)		具体的な取り組み内容(回数・人数等)				
1	家庭・地域・職場での意識調査の実施、調査研究、情報提供	計画の進捗状況を把握するため、勤労青少年ホームの利用者等にアンケートを実施し、結果を市報で情報提供する。	計画の進捗状況を把握するため、勤労青少年ホームの利用者(85人)、子育て支援センター(67人)、市民のつどい参加者(61人)にアンケートを実施し、結果を市報で情報提供した。	新規			企画情報課	
2	地域におけるお出かけ講座の開催	ケーブルテレビ等で広報し「男女共同参画社会の実現に向けて」を推進団体「パートナーシップいなし」と共に開催する。	推進団体「パートナーシップいなし」と共に各地区の脳いきいき教室へ出向き3月まで8回実施予定。	継続			企画情報課	
		男女共同参画に関する啓発用紙しばい、かるた、男女共同参画に関する募集した絵手紙・川柳を活用する。	お出かけ講座で、男女共同参画に関する啓発用紙しばい、かるた及び、男女共同参画に関する絵手紙・川柳応募作品を活用した。	継続			企画情報課	
3	地域・職場・家庭啓発講座開催、啓発資料の作成配布	市報3月号で「男女共同参画」に関する特集を掲載する。 地域のおでかけ講座で男女共同参画の推進を図る。	市報2月特集号「男女共同参画社会をめざして」で啓発 おでかけ講座で男女共同参画の推進を図った。	継続			企画情報課	
		リーフレットの設置や配布による啓発を行う。	リーフレットの設置や配布による啓発を行った。	継続			商工振興課	
4	職場環境の点検と意識改革の推進	リーフレットの設置や配布による啓発を行う。	リーフレットの設置や配布による啓発を行った。	継続			商工振興課	
5	しきたりや慣習の見直しの促進	参画ひろば・有線放送で毎月「男女共同参画社会の実現」に向けた広報・啓発を実施する。	参画ひろば・有線放送で毎月「男女共同参画社会の実現」に向けた広報・啓発を実施した。	継続			企画情報課	
		おでかけ講座「男女共同参画社会の実現に向けて」を実施する。	おでかけ講座(8回実施予定)で啓発を行った。	継続			企画情報課	

## (2) 男女の人権を尊重し、自立を図る教育・学習の推進

## 3. 保育園・幼稚園・学校における人権尊重と自立を図る教育の推進

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容（回数・人数等）		具体的な取り組み内容（回数・人数等）				
1	男女の違いを正しく学び互いを尊重する教育の推進	「男女共同参画社会の実現に向けて」のおでかけ講座を推進団体「パートナーシップいなし」と共に学童クラブ等で開催する。	学童クラブでの開催はよい題材がなくてできなかった。	継続				企画情報課
		市内小学校にて性教育講演会を実施する。（全校21校）	市内小中学校において、児童・生徒及び保護者を対象に性教育講演会を実施した。（全校21校）	継続				学校教育課
2	保育園・幼稚園・学校関係者の研修と理解の促進	保育園の日常保育において、児童自らが男女差別なく仲良く遊び、互いに認め合う保育を一層充実して実践する。	保育園の日常保育において、児童自らが男女差別なく仲良く遊び、互いに認め合う保育を一層充実して実践した。	継続				子育て支援課
		子育て支援センターの「子育て講座」や助産師相談、栄養士による離乳食相談等を行い健全な育児を推進する。（通年）	子育て支援センターの「子育て講座」や助産師相談、栄養士による離乳食相談等を行い健全な育児を推進した。69回 延2,037人参加					
		学校人権同和教育推進研究委員会を開催、各学校の取り組みに学び人権教育の充実を図る。（年4回）	学校人権同和教育推進研究委員会を開催、各学校の取り組みに学び人権教育の充実を図った。（年4回開催）	継続				学校教育課
		保育協会、学校との共催による人権講演会を開催する。（各1回）	保育協会との共催による人権講演会（1/25 参加者250人）、学校との共催による人権講演会（10/16 参加者1,050人）を開催した。	継続				生涯学習課
3	ワークショップ等参加体験型研修講座実施	小学校で人権教育プログラムCAPワークショップを実施する。	小中学校で人権教育プログラムCAPワークショップを実施した。（小学校7校中学校1校）	継続				学校教育課
4	子どもたちが自らの生き方を選択する力を育てるキャリア教育の推進	中学校職場体験学習実施、事前事後学習の充実、キャリア教育推進委員会の開催、小学校の取り組み支援。	中学校職場体験学習実施（生徒866人、登録事業所192か所）事前事後学習の充実、キャリア教育推進委員会開催2回、担当者会議、事業所交流会開催（1/17）	継続				学校教育課
5	学校における情報モラル教育や情報活用能力を高める取り組みを推進	NIE（新聞を教材として活用する）教育の推進を図る。	各小中学校でNIE（新聞を教材として活用する）教育の推進を図った。	継続				学校教育課
6	子どもたちの自立を促す体験的活動の充実	総合的な学習の時間、特別活動、学校行事等で自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などを積極的に取り入れる。	総合的な学習の時間、特別活動、学校行事等で自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などを取り入れた。	継続				学校教育課

## 4. 家庭・地域・職場における人権尊重と自立を図る教育の推進

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容（回数・人数等）		具体的な取り組み内容（回数・人数等）				
1	情報、学習機会の提供、相談体制の充実など家庭教育支援の充実	全職員対象の人権に関する研修会を開催する。（8/20予定） 人権擁護委員による相談を実施する。	全職員対象の人権に関する研修会を8月20日に開催した。（2回開催、参加者128人） 人権擁護委員による特設相談所を4か所で開設、6/29に女性の人権相談を2か所で実施した。	継続				企画情報課
2	公民館・市民講座等を活用した男女共同参画を進める学習機会の提供	お出かけ講座「男女共同参画社会の実現に向けて」を実施する。	各地区公民館で開催される脳いきいき教室でお出かけ講座「男女共同参画社会の実現に向けて」を（年8回実施予定）実施した。	継続				企画情報課
		市民大学との共催による人権講演会（11/19）、公民館講座の人権講演会（9館）を開催する。	市民大学との共催による人権講演会（11/19 参加者230人）を開催した。公民館講座の人権講演会を開催した。（8館8回229人）	継続				生涯学習課
3	地域の指導的立場にある人たちの研修・啓発	女性団体や人材バンク登録者などへ各種研修会の情報提供と参加促進及び活動支援を行う。	女性団体や人材バンク登録者などへ各種研修会の情報提供と参加促進を行った。	継続				企画情報課
4	女性のサークル・グループの育成と支援	各種研修会の情報提供や男と女いきいきセミナー、市民のつどいへの参加促進を行う。	女性団体連絡協議会への活動補助及び各種研修会の情報提供や男と女いきいきセミナー、市民のつどいへの参加促進を行った。	継続				企画情報課
		女性プラザの管理運営と利用促進のための広報を行う。	女性プラザの管理運営と講座募集の広報を行った。					
		公民館女性教室を開催する。	公民館女性教室を開催した。（6館58回1,203人）	継続				生涯学習課
5	企業・事業主等への啓発	部長による企業訪問にあわせリーフレットを配布し啓発を行う。	部長による企業訪問にあわせリーフレットを配布し啓発を行った。	継続				商工振興課
6	関連図書や情報の収集・整備および提供	男女共同参画や人権に関する図書資料を整備する。（伊那市立図書館）	男女共同参画や人権に関する図書資料整備の継続。（伊那市立図書館）	継続				生涯学習課
7	社会教育関係者研修・啓発	社会教育関係者懇談会、人権講演会他各種研修会へ参加する。	社会教育関係者懇談会（11/18 11人出席）、人権講演会他各種研修会へ参加した。	継続				生涯学習課
8	地域での実践に役立つようワークショップ等参加体験型研修講座実施	飯田線利活用検討ワークショップを開催する。	飯田線利活用検討ワークショップ（7回）を開催し（述べ参加者約200人）意見は今後の事業の参考とする。	継続				企画情報課

## (3) 国際化進展の中での男女共同参画の推進

## 5. 国際理解と交流の推進及び多文化共生の社会づくり

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)	具体的な取り組み内容 (回数・人数等)	具体的な取り組み内容 (回数・人数等)	具体的な取り組み内容 (回数・人数等)			
1	公民館の講座・教室を利用したの理解・交流の推進	公民館で行う韓国語講座、中国語を学ぶ会、英会話クラスなどの活動を支援する。	公民館で行う中国語を学ぶ会 (54回)、英会話クラス (52回) などの活動を支援した。	公民館で行う中国語を学ぶ会 (54回)、英会話クラス (52回) などの活動を支援した。	公民館で行う中国語を学ぶ会 (54回)、英会話クラス (52回) などの活動を支援した。	継続		生涯学習課
		生涯学習センターとの共催により伊那国際交流協会主催の日本語教室、日韓親善キムの会主催の韓国語講座を支援する。	生涯学習センターと共催により、伊那国際交流協会主催の日本語教室 (年100回)、日韓親善キムの会 (年53回) 主催の韓国語講座の会場提供した。	生涯学習センターと共催により、伊那国際交流協会主催の日本語教室 (年100回)、日韓親善キムの会 (年53回) 主催の韓国語講座の会場提供した。	生涯学習センターと共催により、伊那国際交流協会主催の日本語教室 (年100回)、日韓親善キムの会 (年53回) 主催の韓国語講座の会場提供した。	継続		生涯学習課
2	市民レベルの国際交流の促進、支援	中日友好中学生卓球大会交流会への受け入れの協力を行う。(10月)	中止により受け入れなし	中止により受け入れなし	中止により受け入れなし	継続		企画情報課
3	幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校における交流の推進	保育園と小中学校間で子ども同士の交流を行う。 保育士の一日学校体験、小学校教諭の一日保育体験を行う。	保育園と小中学校間で子ども同士の交流を行った。 保育士の一日学校体験55人、小学校教諭の一日保育体験72人を行った。	保育園と小中学校間で子ども同士の交流を行った。 保育士の一日学校体験55人、小学校教諭の一日保育体験72人を行った。	保育園と小中学校間で子ども同士の交流を行った。 保育士の一日学校体験55人、小学校教諭の一日保育体験72人を行った。	継続		子育て支援課
		外国語支援相談員(ポルトガル語3人、中国語1人)支援介助員1人を配置し小中学校に在籍する外国籍児童生徒支援を行う。また、小中学校へ英語指導助手5人を配置し、国際理解教育を推進する。	外国語支援相談員(ポルトガル語3人、中国語1人)支援介助員1人を配置し小中学校に在籍する外国籍児童生徒支援を行った。また、小中学校へ英語指導助手5人を配置し、国際理解教育を推進した。	外国語支援相談員(ポルトガル語3人、中国語1人)支援介助員1人を配置し小中学校に在籍する外国籍児童生徒支援を行った。また、小中学校へ英語指導助手5人を配置し、国際理解教育を推進した。	外国語支援相談員(ポルトガル語3人、中国語1人)支援介助員1人を配置し小中学校に在籍する外国籍児童生徒支援を行った。また、小中学校へ英語指導助手5人を配置し、国際理解教育を推進した。	継続		学校教育課
4	友好都市との交流の推進	北京市通州区との友好締結20周年に向けてを検討する。	日中関係は依然として厳しい状況にあるため引き続き検討していく。	日中関係は依然として厳しい状況にあるため引き続き検討していく。	日中関係は依然として厳しい状況にあるため引き続き検討していく。	継続		企画情報課
5	外国語版案内・市役所相談窓口の充実等、多言語行政サービスの推進	外国人相談窓口の設置する。	外国人相談窓口を設置した。相談件数136人(平成25年12月末)	外国人相談窓口を設置した。相談件数136人(平成25年12月末)	外国人相談窓口を設置した。相談件数136人(平成25年12月末)	継続		企画情報課
		ごみ資源物収集カレンダー(英語、ポルトガル語、中国語、朝鮮語)の配布を行う。(年間100世帯)	ごみ資源物収集カレンダー(英語、ポルトガル語、中国語、朝鮮語)の配布を行った。(年間100世帯)	ごみ資源物収集カレンダー(英語、ポルトガル語、中国語、朝鮮語)の配布を行った。(年間100世帯)	ごみ資源物収集カレンダー(英語、ポルトガル語、中国語、朝鮮語)の配布を行った。(年間100世帯)	継続		生活環境課
		蛍光管、乾電池収集案内(ポルトガル語)を11月3月の河川清掃時に各地区役員への配布を行う。	蛍光管、乾電池収集案内(ポルトガル語)を11月3月の河川清掃時に各地区役員への配布を行った。	蛍光管、乾電池収集案内(ポルトガル語)を11月3月の河川清掃時に各地区役員への配布を行った。	蛍光管、乾電池収集案内(ポルトガル語)を11月3月の河川清掃時に各地区役員への配布を行った。	継続		市民課
		日常生活相談や各種事務手続き等の支援のため相談窓口を開設する。相談員述べ2人(常時1人配置)	日常生活相談や各種事務手続き等の支援のため相談窓口を開設した。(相談員2人登録、常時1人配置)相談件数述べ4,029件、相談者述べ3,018人(12月末現在)	日常生活相談や各種事務手続き等の支援のため相談窓口を開設した。(相談員2人登録、常時1人配置)相談件数述べ4,029件、相談者述べ3,018人(12月末現在)	日常生活相談や各種事務手続き等の支援のため相談窓口を開設した。(相談員2人登録、常時1人配置)相談件数述べ4,029件、相談者述べ3,018人(12月末現在)	継続		市民課
		納税通知書(市県民税、国保税)に外国語(英語・ポルトガル語)の説明書を同封する。	納税通知書(市県民税、国保税)に外国語(ポルトガル語)の説明書を同封した。	納税通知書(市県民税、国保税)に外国語(ポルトガル語)の説明書を同封した。	納税通知書(市県民税、国保税)に外国語(ポルトガル語)の説明書を同封した。	継続		税務課
		外国人向け市営住宅入居案内、区要望等(ポルトガル語・中国語)を作成する。	外国人向け市営住宅入居案内(ポルトガル語)、区通知(ポルトガル語・中国語)を作成した。	外国人向け市営住宅入居案内(ポルトガル語)、区通知(ポルトガル語・中国語)を作成した。	外国人向け市営住宅入居案内(ポルトガル語)、区通知(ポルトガル語・中国語)を作成した。	継続		管理課

## 目標2 政策・方針等の立案及び決定への女性の参画促進

(1) 行政機関・地域組織等への女性の参画

6. 行政機関への女性の登用 (目標:平成28年度までに30%とする。)

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	審議会・委員会等への女性の登用促進	30%の登用を目標に指針の徹底及び啓発を行う。		役員の推薦時に女性の登用について30%を目標にする指針の徹底及び啓発を行った。		継続	○	企画情報課
		女性人材バンク制度を職員に周知し積極的な活用に努める。		女性人材バンク制度を職員に周知し積極的な活用を促した。				
		審議会等への積極的な女性登用を各課へ依頼する。(目標30%)		来年度の審議会等への積極的な女性登用を各課へ依頼した。2月(目標30%)		新規	○	高遠町総合支所総務課
		総合計画審議委員への積極的な女性登用による意見集約と反映		総合計画審議委員25人中4人(16%)団体からの推薦委員で団体の事情も考慮した任用となった。				
		地域協議会委員改選時(6月)における女性登用の啓発(目標:3人、20%)		地域協議会委員改選時(6月)に女性の登用を行った。(15人中3人、20%)		新規	○	長谷総合支所総務課
		地域協議会委員改選時(6月)における女性登用の啓発(目標:3人、20%)		地域協議会委員改選時(6月)における女性登用目標達成(15人中3人、20%)				
		新たに設置する「子ども・子育て会議」に女性委員を登用し、母親・女性の立場より子育て支援全般の審議に参画いただく。		子ども・子育て審議会委員15人中4人(26.7%)団体へ推薦依頼結果		新規		子育て支援課
				景観審議会14人中2人登用(14.3%)事業者、団体選出のため				
				キャリア教育推進委員会 21人中1人(4.8%)選出団体代表者に男性が多かったため				
				伊那市地域福祉推進協議会委員 15人中6人(40%)				
2	委員数事前設定の検討(ウォーター制)	各種委員会等の委員依頼時期に女性登用促進に配慮するように、関係部署へ要請する。		各種委員会等の委員依頼時期に女性登用促進に配慮するように、関係部署へ要請した。(2月)		継続		企画情報課
				伊那市障害者施策推進協議会委員 14人中5人35.7%)				

## 7. 地域組織等への女性の登用促進

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	女性登用促進の広報による啓発	市報参画ひろば、有線放送、ケーブルテレビ、おでかけ講座等で広報と啓発を実施する。		市報参画ひろば、有線放送、ケーブルテレビ、おでかけ講座等で広報と啓発を実施した。		継続		企画情報課
2	区長会への要請	地区役員への女性の登用について区長会等へ依頼する。		地区役員への女性の登用について1月の区長会で依頼、9月に文書にて依頼した。				
		地区役員への女性の登用について区長会等を通じ依頼する。		地区役員への女性の登用について1月に区長会等を通じ文書で依頼した。				
3	男女のバランスのとれた役員構成をPTA・保護者会等へ呼び掛け	9月、12月の区長会時に区役員への女性登用促進を啓発する。(目標:女性5人)		区長会時に区役員への女性登用促進した結果、目標:女性5人→3人(総代1人農家組合2人)		継続		企画情報課口
		市報参画ひろば、有線放送、ケーブルテレビ、おでかけ講座等で広報と啓発を実施する。		市報参画ひろば、有線放送、おでかけ講座等で啓発を実施した。				
4	慣習による性別役割分担意識の見直しの啓発	区長へおでかけ講座開催を依頼する。 有線放送(5月)で「慣習による性別役割分担意識の見直し」の啓発する。		9月区長へ文書送付。有線放送(5月)や市報特集号(2月)で啓発した。		継続	○	企画情報課
5	各関係団体への要請			機会を捉えて呼びかけに務めた。				
				25年12月の一斉改選により、民生児童委員168人中86人(51.2%)		継続		社会福祉課

## 8. 女性の意見反映

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	地域課題把握のためのワークショップ 技法習得研修会等の開催	来年度開催予定		来年度ワークショップ型の「男と女いきいきセミナー」を開催予定		継続		企画情報課
2	地域市民のむらづくりネットワークづくり 支援	地域づくり活動への支援の実施		地域づくり活動への支援は実施しているが、ネットワーク構築には至っていない。				企画情報課
3	区役員に女性が参画しやすい組織づくり の啓発	おでかけ講座「男女共同参画社会の実現に向けて」を活用し啓発		区への要請がなかったためでお出かけ講座は開催しなかった。1月区長あてアンケート実施：女性登用について区の規約に89地区中10地区(11.2%)がもりこんでいた。			継続	企画情報課

(2) 計画的な女性の人材育成

## 9. 女性自身の参画意識の改革

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	啓発のための各種講演会の開催	男と女いきいきセミナー開催9月～2月の6回、市民のつどい11月10日(予定)を開催		男と女いきいきセミナー一年6回、市民のつどい11月10日(日)開催(参加者145人)		継続	○	企画情報課
2	各種研修会等への参加促進	各種研修会の情報提供及び参加促進		各種研修会の情報提供及び参加促進を行った。		継続		企画情報課
3	議論、討論する場の設定	女性団体連絡協議会と諏訪市女性団体協議会との交流会を開催予定		女性団体連絡協議会と諏訪市女性団体協議会との交流会を開催した。(7/16・参加者18人)		継続		企画情報課
4	地元高校、大学の公開講座へ派遣、参加	信州大学の市民開放授業の情報提供を行う。		市報にて信州大学の市民開放授業の情報提供を行った。		継続		企画情報課
5	広報による啓発	市報の参画ひろば、市報2月特集号、有線放送、ケーブルテレビで広報・啓発		市報2月特集号で啓発を行い、女性団体のつどい(2/1)で意識調査を行った。		継続		企画情報課

## 10. 学習・研修の場の提供

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	県・市・公民館等の学習会研修会に関する情報の提供と参加促進	各種研修会の情報提供及び参加促進		各種研修会の情報提供及び参加促進を行った。		継続		企画情報課
2	家庭教育講座の充実	家庭教育講演会の開催		各小中学校において人権同和教育の関する講演会を開催した。		継続		学校教育課
3	家庭・企業・学校・保育園等への協力要請	公民館講座への参加要請をする。 参画ひろば、市報2月特集号、有線放送、ケーブルテレビで広報する。		公民館講座へ家庭・学校から協力を得た。(5館29回176人) 参画ひろば、市報2月特集号、有線放送、ケーブルテレビで広報した。		継続		生涯学習課 企画情報課

## 11. 女性人材バンクの充実と活用

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	新会員募集と有効活用	広報等で新会員を募集 女性人材バンク制度を職員に周知積極的な活用に努める。		ホームページにて募集と登録者の掲載を行った。 女性人材バンク登録者を職員に周知積極的な活用に努めた。		継続		企画情報課
2	登録者研修会開催(リーダー研修会)	登録者に各種研修会の参加促進		登録者に各種研修会の情報提供を行った。研修1回、登録者交流会1回を開催した。		継続		企画情報課
3	女性人材に関する情報提供	庁内へ女性人材バンク登録者の情報提供		登録者名簿を一新し庁内へ女性人材バンク登録者(31人)の情報提供を行った。		継続		企画情報課

## 12. 女性団体・学習団体等の活動支援

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	学習会等への支援	県及び市で行う各種研修会の情報提供及と参加促進		県及び市で行う各種研修会の情報提供及と参加促進を行った。		継続		企画情報課
2	学習会・活動の場の提供	市で開催する「セミナー」「伊那市民のつどい」の参加促進や県生涯学習センター研修講座の学習機会の提供		市で開催する「セミナー」「伊那市民のつどい」の参加促進や県生涯学習センター研修講座等の学習機会の提供を行った。		継続		企画情報課
3	女性団体支援	女性団体連絡協議会活動支援(H26終期 補助金100,000) □ 市で開催する「セミナー」及び「伊那市民のつどい」研修会への参加促進 男女共同参画学習団体への支援(各種研修会等の情報提供)		主な活動内容：古布回収140.12kを4施設へ配布、女性団体のつどい2月1日(土)参加者88人 市で開催する「セミナー」及び「伊那市民のつどい」研修会への参加促進 商工、農政関係女性団体の発掘を行い各種研修会等の情報提供を開始した。(12月)		継続		企画情報課
		農村女性ネットワークいな、農村生活マイスターへの活動支援		環境展、地産地消セミナー、郷土食・行事食普及活動への協力した。		継続		農政課
		教育研修会への参加促進		教育研修会への参加促進を行った。		継続		商工振興課
		女性団体連絡協議会や婦人会等女性団体の研修会やイベント活動の支援		女性団体連絡協議会や婦人会等女性団体の研修会やイベント活動の支援を行った。		継続		高遠町総合支所総務課
4	男女の団体相互交流の場の設定	必要な団体があれば交流を行なう。		特に要請がなかった。		継続		企画情報課
5	子育て中の人の参加促進のための託児 事業を充実	6月にボランティアによる子育てサポーターや有償ボランティアのファミリー・サポート・センターの新規協力会員の育成を行い、支援の必要な保護者の託児支援を行う。		子育てサポーター10人、ファミリー・サポート・センター協力会員12人を育成。 活動件数 子育てサポーター169件、ファミリーサポーター612件。		継続	○	子育て支援課

## 目標3 職場・家庭・地域において男女が共に活躍できる社会の実現

(1) 男女が家庭生活と仕事を両立できる環境づくり

## 13. 男女とも働きやすい職場環境の整備

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	男女雇用機会均等法等の周知徹底	長野労働局、県と連携をとり、制度の周知を行う。	長野労働局、県と連携をとり、制度の周知を行った。	継続				商工振興課
2	各種制度活用のための企業への意識啓発	部局長による企業訪問にあわせリーフレットを配布し啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせリーフレットを配布し啓発を行った。	継続				商工振興課
3	育児・介護休業法の周知徹底	長野労働局、県と連携をとり、制度の周知を行う。	長野労働局、県と連携をとり、制度の周知を行った。	継続				商工振興課
4	再就職のための職業訓練の場の提供	関係機関と連携を図り、研修等の情報提供を行う。	関係機関と連携を図り、研修等の情報提供を行った。	継続				商工振興課
5	意識改革のための企業研修と広報・啓発	商工団体に研修会等を開催するよう要請を行う。	商工団体に研修会参加の要請を行った。	継続				商工振興課
6	職場や行政機関における相談窓口の充実と利活用	市ホームページなどで関係機関が実施する相談窓口の情報提供を行う。	市ホームページなどで関係機関が実施する相談窓口の情報提供を行った。	継続				商工振興課

## 14. ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) の実現に向けた取り組みの推進

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	ワーク・ライフ・バランスの考え方の普及・浸透	参画ひろば、有線放送、ケーブルテレビによる広報・啓発	参画ひろば、有線放送、ケーブルテレビによる広報・啓発を行った。 子育て支援センター、青少年ホーム利用者、市民のつどい参加者213人にアンケートを行う。 ワークライフ・バランスは54%の認知があった。	継続				企画情報課
		部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課
2	男性にとつての男女共同参画しやすい環境づくり	男性が参加しやすい講演会や広報	男性も参加しやすい講演会の広報に努めた。	継続				企画情報課
		部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課
3	育児・介護を行う労働者に対する配慮と情報提供	長野労働局、県と連携をとり、改正育児・介護休業法の周知を行う。	長野労働局、県と連携をとり、改正育児・介護休業法の周知を行った。	継続				商工振興課
4	フレックスタイム制度の活用推進	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課
5	適切な労働時間と休暇の取得	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課
6	メンタルヘルス研修の充実	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課
7	就労時間の短縮	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課
8	家庭での固定的な役割分担意識の解消	市報の参画ひろば、3月号特集号、毎月推進会議委員による有線放送で広報・啓発 おでかけ講座の開催	市報の「参画ひろば」(毎月)、2月号「特集号」で広報、推進会議委員による有線放送で広報・啓発(毎月) おでかけ講座の開催 (8回開催予定)	継続				企画情報課
		公民館男性のための料理教室の開催	公民館男性のための料理教室の開催 (5館10回 参加者: 155人)	継続				生涯学習課
9	リフレッシュ休暇の普及徹底	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課
10	各種相談窓口の利活用	女性相談の充実を図る。 いなし出会いサポートセンターによる結婚推進事業を促進する。	働き方が家庭に波及している相談に対しては関係機関に繋げている。 登録者243人(男160人、女83人)、紹介組数55組、成婚者数(登録者)12人、イベント開催10回	継続				企画情報課 社会福祉課

(2) 雇用の場における 共同参画の促進

## 15. 就業機会の拡大と働きつけやすい職場条件の整備

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	昇給・昇進の格差是正	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課
2	企業・事業主への啓発と研修	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続	○			商工振興課
3	採用・退職にある慣習差別の是正	企業人権教育研修会の共催、部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	企業人権教育研修会の共催、部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課
4	パート・派遣労働者からの正規職員への登用促進	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課

## 16. 女性職域の拡大、管理職への登用促進

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	女性の職域の拡大	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課
2	女性の管理職への登用	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課
3	女性の能力開発の支援、研修会受講に関する配慮	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。	継続				商工振興課

## (3) 農林業・商工観光業等自営業における男女共同参画の環境づくり

## 17. 女性の能力が発揮できる条件整備

No.	具体的な施策	計 画	実 績	区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容（回数・人数等）	具体的な取り組み内容（回数・人数等）			
1	担い手不足に対応した集落営農システムの整備	集落営農組織、認定農業者に農地の集積、機械の共同利用による省力化等を進める中で効率の良い農業を推進と集落営農組織の法人化に向けた取り組みの支援する。 (1) J A上伊那の各支所担い手育成推進本部と連携し集落営農組織を支援する。 (2) 法人化を目指す組織については、運営方法等優先的に支援する。 (3) 上伊那集落営農ネットワークと連携し、法人化への取り組みを支援する。	集落営農組織、認定農業者に農地の集積、機械の共同利用による省力化等を進める中で効率の良い農業を推進と集落営農組織の法人化に向けた取り組みを行った。 (1) J A上伊那の各支所担い手育成推進本部と連携し集落営農組織を支援した。（随時） (2) 法人化を目指す組織については、運営方法等優先的に支援した。（3団体） (3) 上伊那集落営農ネットワークと連携し、法人化への取り組みを支援した。（随時）	継続	○	農政課
2	食育の普及実践活動への支援	伊那市食育推進会議への参加（委員1名）、地産地消セミナーの開催（年2回開催予定）、環境展へ参加、ケーブルTVを活用した旬の食材を利用した郷土料理の番組づくり（年3回の予定）等の活動を通して地産地消の推進や郷土料理、行事食等のPRを行う。	伊那市食育推進会議への参加（委員1人）、地産地消セミナーの開催（1回目26人・2回目23人予定）、環境展（7人）へ参加し、地産地消の推進や郷土料理、行事食等のPRを行った。	継続		農政課
		食育推進会議への参加 各学校で「弁当の日」を実施する。	食育推進会議への参加 各学校で「弁当の日」を実施した。	継続		学校教育課
		伊那市食生活改善推進協議会へ栄養士による「ヘルス&クッキング研修会」を年4回行う。	伊那市食生活改善推進協議会へ栄養士による「ヘルス&クッキング研修会」5月24日・8月26日・10月17日・2月4日計4回実施 参加人数延べ80人	継続		健康推進課
3	家族経営協定締結の推進	家族経営協定締結の推進 家族経営が中心となっている農業に、それぞれがこれまで以上に意欲を持って取り組んでいたため、家族一人ひとりの役割と責任、権利と義務を明確にする「家族経営協定」の締結を推進する。特に女性農業者には、共同経営者又は主たる経営者としての自覚と誇りを持っていただくように意識付けを進める。 (1) 経営基本の明確化 (2) 新しい信頼関係の構築 (3) 必要に応じた協定の見直し	家族経営協定締結の推進 家族経営が中心となっている農業に、それぞれがこれまで以上に意欲を持って取り組んでいたため、家族一人ひとりの役割と責任、権利と義務を明確にする「家族経営協定」の締結を推進した。特に女性農業者には、共同経営者又は主たる経営者としての自覚と誇りを持っていただくように意識付けを進めた。 本年度締結者：5組、本年度協定見直し：1組 H25年度までの締結者：82組	継続	○	農業委員会事務局

## 18. 女性の主体的な経営への参画推進

No.	具体的な施策	計 画	実 績	区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容（回数・人数等）	具体的な取り組み内容（回数・人数等）			
1	技術や経営管理能力の研修会・学習会の充実	農村女性ネットワーク、農村生活マイスター主催で、県、南信、それぞれで講演会、研修会等を開催している。（主な事務局は、県農政部）（参加回数、県→1回、南信→1回/年）女性農業者のつどい参加（1回/年） 商工団体に研修会等を開催するよう要請を行う。	農村女性ネットワーク、農村生活マイスター主催で、県、南信、それぞれで講演会、研修会等を開催している。（主な事務局は、県農政部）（参加回数、県→1回、南信→2回/年）女性農業者のつどい参加（2月25日実施予定） 商工団体に研修会の要請を行った。	継続		農政課
				継続		商工振興課
2	リーダー育成支援	農村女性ネットワークいな（農村女性グループリーダー主体）の活動を中心として実施。会議開催（8回予定）、地産地消セミナー実施（2回/年）、環境展への参加する。 商工団体に支援体制の強化について要請を行う。	農村女性ネットワークいな（農村女性グループリーダー主体）の活動を中心として実施。会議開催（8回予定）、地産地消セミナー実施（1回目26人、2回目23人予定）、環境展（7人）への参加。 商工団体に支援体制の強化について要請した。	継続		農政課
				継続		商工振興課
3	農産加工・地域ブランド化等起業家への支援	観桜期に高遠町農産加工組合の商品を販売する。 新宿西早稲田中への味噌を販売する。 新宿フェスタ参加による物品を販売する。	観桜期に高遠町農産加工組合の商品を販売（1週間20人） 新宿西早稲田中への味噌を販売する。（通年） 新宿フェスタに参加しなかった。	継続		高遠町総合支所 産業振興課
4	男女の意識改革のための研修会開催	県主催研修会の情報を地域や女性団体などへ提供する。	県主催研修会の情報を地域や女性団体などへ提供した。	継続		企画情報課
5	女性グループの組織整備とネットワーク支援	女性農業者の集いに参加し、市内女性農業者の交流と親睦を深め、情報交換を行う。	女性農業者の集いに参加し、市内女性農業者の交流と親睦を深め情報交換を行う。2月25日実施予定。	継続		農政課

## (4) 地域社会での男女共同参画の促進

## 19. 地域社会での意識改革と啓発

No.	具体的な施策	計 画		実 績	区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)					
1	講演会・研修会の開催	「男と女いきいきセミナー」を開催する。(9月～2月の6回実施) 「市民のつどい」11月10日(日)を開催した。		「男と女いきいきセミナー」を開催した。(9月～2月の6回実施) 「市民のつどい」11月10日(日)を開催した。(参加者145人)			企画情報課
2	女性の意識改革	男女共同参画推進会議委員による市報参画ひろばや有線放送で毎月広報・啓発を実施 市報特集号(3月)、「おでかけ講座」の実施		男女共同参画推進会議委員による市報参画ひろばや有線放送で毎月広報・啓発、市報特集号(2月)での啓発及び「おでかけ講座」を実施した。女性団体のつどいで意識調査を行った。			企画情報課
3	男女の固定的な役割分担意識の是正の啓発	男女共同参画推進会議委員による市報参画ひろばや有線放送で毎月広報・啓発を実施 市報特集号(3月)、「おでかけ講座」を実施		男女共同参画推進会議委員による市報参画ひろばや有線放送で毎月広報・啓発、市報特集号(2月)での啓発、「おでかけ講座」を実施した。			企画情報課

## 20. 支え合う地域づくりのための支援

No.	具体的な施策	計 画		実 績	区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)					
1	地域における相互扶助活動の充実	よりよい教育環境推進連絡会を開催する。		よりよい教育環境推進連絡会の開催した。(年2回)			生涯学習課
2	地域リーダーの積極的育成	防災士資格取得補助(伊那市防災士養成事業)による、地域のリーダーとして女性の意見を反映させた地域防災力の向上を図る。		防災士資格取得補助(伊那市防災士養成事業)による資格取得者数4人中女性3人			危機管理課
3	地域の世代間交流の場の提供	保育園に隣接した竜南・上の原子育て支援センターにおいて利用者が園の行事へ参加したり給食体験を通して異年齢児とのふれあい交流を行う。 各保育園において、地域交流を行う。(お年寄り・小中学校等)		竜南・上の原子育て支援センター利用者が、保育園の誕生日会や避難訓練に参加、保育園児がセンターの講座に参加し交流した。 各保育園において、地域交流を行った。(お年寄り・小中学校等)			子育て支援課
4	地域社会福祉協議会の活動支援	伊那市社会福祉協議会と連携した未設置地区の組織化推進と活動支援		伊那市社協と連携して組織化に取り組み、1地区設立予定(3月)			社会福祉課
5	地域単位での学習会の充実	公民館講座で人権講演会(6館)を開催する。		公民館講座で人権講演会を開催した。(8館8回229人)			生涯学習課
6	助け合い福祉ネットワークづくりの推進	地域見守りネットワーク事業を拡充する。		民間の宅配、新聞等7事業所と追加し、計50事業所と協定を行った。通報7件			社会福祉課
7	ボランティア活動への支援	伊那市社協「ボランティア・地域活動応援センター」の事業支援を行う。 ボランティア移送事業の拡充を行う。		「ボランティア・地域活動応援センター」を支援した。(登録人数3,308人、登録団体109) ボランティア移送事業の拡充を行った。(H25.12末現在、利用回数1,883回、前年同期24.3%増)			社会福祉課
		観光ボランティアガイドの活動への支援を行う。 ボランティアガイド会議の支援を行う。		観光ボランティアガイドの養成、活動の場(さくらまつり等)の提供 ボランティアガイド会議(月1回)力をつけるための会議(勉強)等の会場の支援			観光課
		地区青少年健全育成活動支援(34地区育成会)		地区青少年健全育成活動支援(34地区育成会)			生涯学習課

## 21. 誰もがいきいき活動できる環境づくり

No.	具体的な施策	計 画		実 績	区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)					
1	学習・地域活動の場の提供	公民館事業全般(9公民館)		公民館事業全般を実施した。(9館)			生涯学習課
2	ひとり親家庭への相談体制と福祉施策の向上	母子自立支援員によるひとり親家庭の相談を関係機関と連携し支援等に繋げる。		母子自立支援員によるひとり親家庭の相談を関係機関と連携し支援等に繋げた。 相談件数505件。			子育て支援課
		ひとり親家庭の親子等に対する福祉医療費給付事業の実施により、医療費負担の軽減を図る。 引き続き子育て支援課との連携により申請を早くできるように促す。		ひとり親家庭の親子等に対する福祉医療費給付事業の実施により、医療費負担の軽減のため子育て支援課と連携を図った。			健康推進課
3	スポーツ・レクリエーション活動の支援	市民体育祭の開催(29競技開催計画) 総合型地域スポーツクラブの活動支援(100講座開催)		市民体育祭の開催(29競技開催計画 27競技実施) 総合型地域スポーツクラブの活動支援(100講座開催)			スポーツ振興課
4	障がい者の自立支援とサービスの充実	相談支援事業の拡充(計画相談支援件数170件)		相談支援事業の拡充(計画相談支援件数290件)			社会福祉課
5	高齢者の社会参加の促進	高齢者クラブ活動支援(1連合会・58単位クラブ)		高齢者クラブ活動支援(1連合会・56単位クラブ、2,673人) 補助金額 ・連合会:1,169,300円 ・単位クラブ:定額3,629,200円(30人以上50,000円、30人未満30,000円、会員1人400円) " :活動割299,216円(1事業上限10,000円 12月末現在)		○	高齢者福祉課
		高齢者知恵袋事業への支援		高齢者知恵袋事業への支援(14団体 292,148円(1/14現在))		○	
6	人にやさしいバリアフリー化の推進	障害者にやさしい住宅改良事業の実施(5件)		障害者にやさしい住宅改良事業の実施(2件)			社会福祉課

## (5) 防災分野での男女共同参画の推進

## 22. 防災・災害対応体制の整備

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容（回数・人数等）		具体的な取り組み内容（回数・人数等）				
1	消防団への女性参加の促進	会議研修等で女性団員の加入を働きかける。女性団員の活動の場として、消防団広報委員会を組織し参画してもらう。		会議研修等で女性団員の加入を働きかけた。女性団員の活動の場として、消防団広報委員会を組織し参画してもらった。（広報委員3人、新入団員2人）		継続		危機管理課
2	地域への情報伝達体制の整備	すべての市民に情報伝達するため伊那市防災行政無線（同報系）のデジタル化整備の実施：H24伊那地域整備完了 H25.26高遠町地区整備 災害時要援護者台帳の整備を行う。		すべての市民に情報伝達するため伊那市防災行政無線（同報系）のデジタル化整備の実施に向けて高遠町地区整備実施中。H26完了予定 災害時要援護者台帳の整備を行う。（1,900人、76%）		継続	○	危機管理課
3	災害時における男女のニーズの違いに配慮した対応	避難所等において、女性や災害時要援護者のニーズに応じた運営ができるようマニュアルを見直す。		避難所等において、女性や災害時要援護者のニーズに応じた運営ができるようマニュアルを見直す。（3月見直し）		継続		危機管理課
4	家庭や地域のプラン作成や訓練への参加	12、1月の区長会時に自主防災会役員及び組織員更新時における役割考慮の啓蒙 女性対象の防災に係るお出かけ講座を実施する。（地区婦人部、日赤奉仕団等等） 災害時住民支え合いマップの作成・見直し		区長会時に自主防災会組織員更新時における女性登用を促し、役割について啓蒙した。 女性対象の防災に係るお出かけ講座を実施した。（日赤奉仕団 3団体） 災害時住民支え合いマップの見直し（9地区に補助）		継続		長谷総合支所総務課 危機管理課 社会福祉課

## (6) 家庭における男女共同参画の促進と社会的支援

## 23. 男女が共に育む子育て支援の推進

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容（回数・人数等）		具体的な取り組み内容（回数・人数等）				
1	保育園の施設設備及び保育の質の向上	保育園整備計画に基づき、老朽施設改築による環境整備の推進について関係者との協議を実施する。		保育園整備計画に基づき、老朽施設改築による環境整備の推進について関係者との協議を実施した。		継続	○	子育て支援課
		公立保育園21園の運営及び私立保育園3園への運営支援・補助等により、保護者の就労支援を図る。 延長保育、土曜保育、未満児保育を引き続き実施する。		公立保育園21園の運営及び私立保育園3園への運営支援・補助等により、保護者の就労支援を図った。 延長保育、土曜保育、未満児保育を引き続き実施した。			○	
		平成19年11月に開設した「病後児保育」と「休日保育」を継続して実施する。		平成19年11月に開設した「病後児保育」と「休日保育」を継続して実施した。				
2	児童虐待防止への取り組みと相談事業の充実	児童虐待の早期発見・早期対応・自立へ向けた継続支援を関係機関と連携し対応する。		児童虐待の早期発見・早期対応・自立へ向けた継続支援を関係機関と連携し対応した。（H26年1月現在、児童虐待通告数31件52人、ネットワークによる支援会議148回、進行管理している要保護児童数177人）		継続		子育て支援課 学校教育課
3	学童クラブの拡充と子育て支援センターの充実	未就園児と保護者の居場所や相談場所として4センター（上の原、竜南、富巣、美篤）の運営とセンターに遠い西箕輪、西春近地区の公民館での出張子育て支援センターを月31回程度開催する 学童クラブの開設（17ヶ所）		未就園児と保護者の居場所や相談場所として4センター（上の原、竜南、富巣、美篤）の運営延べ利用者18,499人、出張子育て支援センター（公民館）55回開催 延1,000人参加。 学童クラブの開設（17ヶ所）		継続		子育て支援課 生涯学習課
4	私立保育園運営の支援	私立保育園3園への運営支援・補助等により、保護者の就労支援を図る。		私立保育園3園への運営支援・補助等により、保護者の就労支援を図った。		継続	○	子育て支援課
5	育児休業等仕事と子育ての両立のための制度活用	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。		部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。		継続		商工振興課
6	両親学級の開催	ハッピーバース講座を開催する。		ハッピーバース講座 計画どおり実施（1クール月4回を11クール）		継続		健康推進課
7	労働時間短縮による、ゆとりある子育ての啓発	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。		部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。		継続		商工振興課
8	親育て・子育て講座の開催	ふれあい体操の講座を開催し父親の育児参加の啓発を行う。妊娠届出時に保健師よりお父さんのためのガイドブックを渡す。 公民館子育て学級の開催（9館） さくらんぼきつず 年11回（参加者延べ300人予定）		明橋大二先生の子育て講演会（保護者会と共催）準備段階より父親が関わった。参加者300人 妊娠届出時に保健師よりお父さんのためのガイドブックを渡した。ハッピーバース講座へ父親参加を促した。 公民館子育て学級を開催した。（8館75回3,627人） さくらんぼきつず 年11回（1月末現在：参加者延べ240人）今後2回開催予定		継続		子育て支援課 健康推進課 生涯学習課 高遠長谷教育振興課

## 24. 男女で支え合う介護支援の推進

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	男女で支える介護の啓発	市報等メディアを活用した広報と啓発(随時) □		市報等メディアを活用した広報と啓発(随時) □		継続		高齢者福祉課
		地域包括支援センターだより発行		地域包括支援センターだより(隔月)発行				
		介護相談の実施(常時)		介護相談の実施(常時)				
2	介護休業制度の充実と活用	部局長による企業訪問にあわせ啓発を行う。		部局長による企業訪問にあわせ啓発を行った。		継続		商工振興課
3	介護サービス基盤の整備と充実	いきいき交流施設整備 7か所		いきいき交流施設整備 7か所(うち次年度へ繰越1か所)		継続		高齢者福祉課
		介護予防拠点整備 1か所		介護予防拠点整備(公民館のバリアフリー化) 1か所				
		宅幼老所整備支援 1か所		宅幼老所整備支援(デイサービス事業) 1か所				
4	介護予防事業の充実	脳いきいき教室 108教室		脳いきいき教室 110教室で 2,750回開催 延べ26,500人参加		継続		高齢者福祉課
		筋力向上トレーニング教室16教室		筋力向上トレーニング教室16教室開催 延べ3,086人参加				
		いーな元気応援セミナー(65歳誕生日講座)19回		いーな元気応援セミナー(65歳誕生日講座)19回開催 実360人参加 (対象者の30%)				
5	要介護者に対する生活支援の充実	認知症介護者の会 12回□		認知症介護者の会 8回開催 43人参加(12月末現在)		継続		高齢者福祉課
		高齢者介護慰労金の支給		高齢者介護慰労金の支給 8月(398人)、2月支払(予定) H25支払額(見込)24,894千円				
		高齢者慰労事業(「高齢者福祉券」交付事業)		高齢者慰労事業(「高齢者福祉券」交付事業) 496人				
		紙おむつ等購入券交付事業		紙おむつ等購入券交付事業 329人				
		家庭介護者リフレッシュ事業		家庭介護者リフレッシュ事業 14人				
6	高齢者虐待防止への取り組みと相談窓口の充実	高齢者虐待防止相談□		相談:27件 虐待と認めた件数:9件 成年後見制度市長申立て:5件(12月末現在)		継続		高齢者福祉課
		高齢者権利擁護ネットワークの推進		高齢者権利擁護ネットワーク連絡会 9月12日開催 高齢者施設権利擁護ネットワーク連絡会 1月27日開催				
7	介護保険サービスの利用促進	介護保険利用料限度額オーバー助成□		介護保険利用料限度額オーバー助成 ・デイサービス・ホームヘルプサービス費用助成事業 介護保険の利用限度額を超えて、なおサービスを利用しなければ在宅生活が極めて困難な要介護者に、審査のうえデイサービス、ホームヘルプサービスの費用を助成する。 助成対象額 月額60,000円限度 助成額 介護保険料の所得区分1. 2. 3. 4 対象費用の10分の9 5. 6 対象費用の10分の8 (見込み) デイサービス:延べ58人 1,556千円 ホームヘルプサービス:延べ37人 1,470千円		継続		高齢者福祉課
		低所得利用者に対する市単利用補助		低所得利用者に対する市単利用補助(社会福祉法人以外の法人が行うサービス利用料に対する扶助:前期分6人、後期分10人(見込み))				
		介護保険事業所ガイド作成		介護保険事業所ガイド作成 1,800部				
		介護保険利用ミニガイド作成		介護保険利用ミニガイド作成 2,600部				

## 25. 相談窓口体制の充実

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	子ども・女性・高齢者等多様な相談窓口の充実	女性相談員による女性のための相談室の開設、研修参加		女性のための相談室を継続し、研修参加により相談員のスキルアップと関係機関との連携を図った。		継続		企画情報課
		母子自立支援員によるひとり親家庭の相談を関係機関と連携し支援等に繋げる		母子自立支援員によるひとり親家庭の相談を関係機関と連携し支援等に繋げた。相談件数505件		継続		子育て支援課
		0歳から18歳までの子どもの様々な問題について相談に応じ、保健・医療・福祉・教育等関係機関と連携し自立へ向けた総合的な支援を行う。		0歳から18歳までの子どもの様々な問題について相談に応じ、保健・医療・福祉・教育等関係機関と連携し自立へ向けた総合的な支援を行った。(H25年11月現在:実人員553人延べ相談支援件数5,841人)		継続		学校教育課

## 目標4 男女の性の尊厳を確立し、健やかに暮らせる社会の形成

(1) 男女間におけるあらゆる暴力の根絶

## 26. 暴力をなくすための意識啓蒙の推進

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	男女間における暴力を根絶するための意識啓蒙	人権に関する街頭啓蒙を関係機関と実施 庁舎内等へポスターの掲示、庁舎の掲示塔への懸垂幕の掲示 (12月4日～10日)		人権に関する街頭啓蒙を関係機関と実施 (11～12月、3回) ・多目的ホールにてデートDV啓蒙ポスター展示(6月21～28日) 庁舎の掲示塔への懸垂幕の掲示 (12月3日～11日)		継続		企画情報課
		虐待予防ワークショップ2回及び自助グループ6回開催する。(対象：幼児を持つ母親)		虐待予防ワークショップ2回(6月12日；35人 7月9日；32人参加) 自助グループ6回実施 (参加者実数10人)		継続		健康推進課
2	幼児期からの人間尊重、他人への思いやる心の育成	保育園のふれあい保育へ保健師が参加し、入園前の親子に命を大切にすること等について話題を提供する。		保育園のふれあい保育へ保健師が参加し、入園前の親子に命を大切にすること等について話題を提供した (伊那市の全保育園)		継続		健康推進課
		すくすくベビー・子育て支援センター・各地区子育てサークルなどに保健師が参加し、親子への必要な情報や話題を提供する。		すくすくベビー・子育て支援センター・各地区子育てサークルなどに保健師が参加し、親子への必要な情報や話題を提供した				
3	性犯罪、売買春、ストーカー、ドメスティック・バイオレンス等規制法の周知と学習会の充実	若者の心の健康講演会の実施		・発達障害に悩む若者を地域で支えるための研修会実施 (伊那市保健委員会を対象に) 「こころの健康講演会」3月1日実施予定 (テーマ：親の想い・子の想い～思春期のこころを捉える～)		継続		健康推進課
		高校性・中学生の赤ちゃん抱っこ体験を通し、性(命)の大切さについて話題提供する。		・高遠高校(20人)上農高校(18人)伊那西高校(22人)赤ちゃん抱っこ体験の実施(命の大切さ・親になることについて話題提供) ・弥生ヶ丘高校(32人)妊婦体験を通しての命の大切さについて講義を実施				
4	セクシャル・ハラスメントの防止対策の推進	県主催の研修会情報を地域や団体へ提供		県主催の研修会情報があれば各支所等で情報提供した。		継続		企画情報課

## 27. 相談窓口の明確化と支援の充実

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	相談窓口の明確化と相談業務の充実	女性のための相談室を開設 面接相談：毎週火・木曜日午前9時～5時 電話相談：平日出張相談：毎月第2金曜日 午後1時30分～5時 高遠町文化センター		女性のための相談室について市報等で広報するとともに、7月より男性相談専用電話が県男女共同参画センターで開始され、庁内関係課への周知、市民へはホームページで広報した。		継続		企画情報課
		保健福祉ガイドブック・子育てガイドブック・介護保険事業所一覧に掲載されている相談窓口の明確化を行い、相談者が迷うことのないように適切な誘導を行う		保健福祉ガイドブック・子育てガイドブック・介護保険事業所一覧に掲載されている相談窓口の明確化を行い、相談者が迷うことのないように適切な誘導を行なった。		継続		高齢者福祉課・社会福祉課・子育て支援課・健康推進課
2	国・県・児童相談所等関係機関との連携	女性相談員や母子自立支援員が受けた相談の中で必要に応じ伊那保健福祉事務所や警察と連携し支援につなげる。		女性相談員や母子自立支援員が受けた相談の中で必要に応じ伊那保健福祉事務所や警察と連携し支援につなげた。他機関へつなげた件数51件。		継続		子育て支援課
		伊那保健福祉事務所等と連携し被害者保護や支援を行う。		伊那保健福祉事務所等と連携し被害者保護や支援を行った。		継続		子育て支援課
3	被害者の保護と自立に向けての支援	伊那保健福祉事務所等と連携し被害者保護や支援を行う。		伊那保健福祉事務所等と連携し被害者保護や支援を行った。		継続		社会福祉課
		関係機関との連携を敏速に行う。		伊那市障害者虐待防止センターによる虐待防止 (通報7件、うち虐待として県に報告4件)		継続		健康推進課

(2) 性に関する教育の推進と健康づくりの支援

## 28. 命の大切さと性に対する教育の推進

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	国・県等関係機関との連携	保健福祉事務所及び学校教育課と連携を図り、情報共有しながら、適切な性教育を行う。		保健福祉事務所及び学校教育課と連携を図り情報を共有した。具体的な性教育は学校単位で実施		継続		健康推進課
		保健福祉事務所及び学校教育課と連携を図り情報を共有した。具体的な性教育は学校単位で実施		保健福祉事務所及び学校教育課と連携を図り情報を共有した。具体的な性教育は学校単位で実施		継続		学校教育課
2	小中学校等における命の大切さと性に関する教育の充実	中学校区での保健・保育関係者連絡会を開催し、身近なチームで情報共有するとともに必要な情報を授業や生活の時間に提供する。		中学校区での保健・保育関係者連絡会を開催し、地域の課題について検討した。		継続		健康推進課 子育て支援課
		高校性抱っこ体験の事後学習で性感染症予防や命の大切さについて学習する機会を設ける。		高校性抱っこ体験の事後学習で性感染症予防や命の大切さについて話題提供した (上伊那助産師会と連携し講義を行った。高遠高校・上農高校・伊那西高校 合計60人)		継続		健康推進課
3	家庭内において性教育ができる環境づくりの推進	各学校で性に関する講演会や学習を実施する。(全校21校)		各学校で性に関する講演会や学習を実施した。(全校21校)		継続		学校教育課
		3歳児健診で保護者を対象に、保健師が《生まれてきてくれてありがとう》の話をを行う。		3歳児健診で保護者を対象に、保健師が《生まれてきてくれてありがとう》の話をを行った。(性に関する絵本の紹介もやっている)		継続		健康推進課
4	教職員の意識向上をめざす研修の充実	中学校区での保健・保育関係者連絡会を開催する。		中学校区での保健・保育関係者連絡会を開催した。		継続		学校教育課

## 29. 健康で安心して暮らせるための支援

No.	具体的な施策	計 画		実 績		区 分	主要事業	担当課
		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)		具体的な取り組み内容 (回数・人数等)				
1	各種検診受診の啓発	子宮がん検診受診率		未受診者勧奨、節目年齢に無料クーポン券を配布、成人式にがん検診受診の啓発を行った。 子宮頸がん検診受診率 H24年度26.5% (H25年度は3月まで未定)	継続	健康推進課		
		乳がん検診受診率		未受診者勧奨、節目年齢に無料クーポン券配布、成人式にがん検診受診の啓発を行った。 マンモグラフィ検診受診率 H24年度36.4% (H25年度は3月まで実施中にて未定)	継続			
		特定健診受診率向上のため、啓発活動を強化します (保健委員を通しての啓発。市報、ケーブルテレビ、有線放送、検診カレンダーの全戸配布、公用車ステッカー、啓発のぼり旗)		特定健診受診率向上のため、啓発活動・未受診者勧奨・保健委員による通知配布・健診実施機関との連携を行った。 特定健診受診率 H24年度46.2% (H25年度は推定46.7%) 法定報告のためH26.9月発表される	継続 ○			
2	健康教育の充実 (個別指導・集団教育)	健康診断後の結果説明会の開催。特定保健指導者グループ教室の開催。特定保健指導個別継続指導の実施		健康診断後の結果説明会の開催 (平成25年度70回開催) 特定保健指導者グループ教室を開催した。特定保健指導個別継続指導を実施した。	継続	健康推進課		
		すこやか健康塾の開催 (春コース5回・秋コース5回、合同ハイキング1回)		すこやか健康塾開催 (1コース5回を2教室、合同ハイキング1回) 参加実数55人	継続			
3	健康を脅かす問題についての意識啓発及び防止対策 (喫煙・アルコール依存・薬物乱用による健康被害HIV・性感染症対策)	喫煙アルコール健康教育の実施 (中学生) 赤ちゃん抱っこ体験事後学習で健康を脅かす問題について、情報提供する。		喫煙健康教育を26年2月7日実施 (伊那西高校全生徒対象 ) 赤ちゃん抱っこ体験事後学習で健康を脅かす問題について、情報提供した。	継続	健康推進課		
		母子手帳発行時に全妊婦に、タバコとアルコールの害について情報提供する。		母子手帳発行時に全妊婦に、タバコとアルコールの害について情報を提供した。	継続		健康推進課	
4	健康相談体制の充実 (たばこ・アルコール含む)	ハッピーバース講座で両親に情報提供する。		ハッピーバース講座で両親に情報を提供した。				
		高校性及び中学生の赤ちゃん抱っこ体験の事後学習で情報提供する。		高校生の赤ちゃん抱っこ体験の事前または事後学習で情報提供した。				
		ふれあい保育や育児支援サークルで、親に対して情報提供する。		ふれあい保育や育児支援サークルで、親に対して情報提供した。				
5	心の悩み等における相談体制の充実	こころの相談の実施 (月2回)		こころの相談を月2回実施 相談者延べ71人 (12月末現在)	継続	健康推進課		
		健康心理士による心理カウンセリング「心の相談室」□		健康心理士による心理カウンセリング「心の相談室」□年間82日開催 相談者延べ172人 (12月)	継続		長谷保健福祉課	
		特定健診・はつらつ健診・いきいき健診時うつチェックを行い、相談窓口を周知する。□		特定健診・はつらつ健診・いきいき健診時うつチェックを行い、相談窓口を周知した。□	継続		健康推進課	
		新生児訪問時産後うつチェックを行い、適切な支援につなげていく。		新生児訪問時産後うつチェックを行い、支援必要な産婦には適切な支援を継続している。	継続		健康推進課	
6	妊娠から出産までの一環した母子保健サービスの充実	周囲の気持ちに寄り添い悩んでいる人を専門家につなぐためのゲートキーパーの養成		周囲の気持ちに寄り添い悩んでいる人を専門家につなぐためのゲートキーパーの養成講座を実施した。(10/28・11/13・11/25 参加者延べ107人)	継続	健康推進課		
		小中学校への子どもと親の相談員、スクールカウンセラーを配置する。		小中学校への子どもと親の相談員、スクールカウンセラーを配置する。	継続		学校教育課	
7	妊娠から出産までの一環した母子保健サービスの充実	療育支援ネットワークの開始。支援ネットワーク会議の開催 (月1回)		療育支援ネットワークの開始。支援ネットワーク会議を月に一回実施し、適切な支援体制を整えている。(延べ120人について検討を行った。(12月末現在)	新規 ○	健康推進課		
7	不妊相談業務の推進	不妊治療助成事業の実施により、経済的負担の軽減を図る。		不妊治療助成事業の実施により、経済的負担の軽減を図った	継続	健康推進課		
8	ライフステージに応じた健康支援	乳幼児期、思春期、成人、高齢者への各種集まりや講座への衛生教室を実施し、健康維持できる話題を随時提供する。		乳幼児期、思春期、成人、高齢者への各種集まりや講座への衛生教室を実施し、健康維持できる話題を随時提供した。	継続	健康推進課		
9	生涯にわたる健康維持のための運動の推進	市民みんなですこやかウォーキング事業の実施。ウォーキング登録者2000人を目指す。		市民みんなですこやかウォーキング事業の実施 (6月1日講演会164人・各地区で歩き方講習会・市の健康イベントで事業周知・2月23日事業報告会等) ウォーキング登録者 516人	新規 ○	保健福祉課		
		ウォーキング年10回150人・健康講座年6回90人		ウォーキング年10回150人・健康講座年6回156人	新規		長谷保健福祉課	